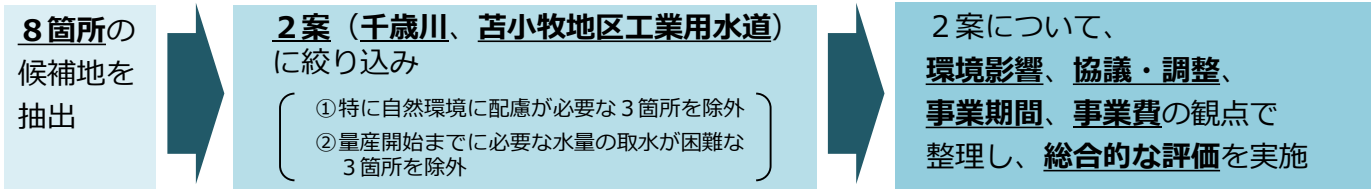


- ✓ 半導体製造に必要な不可欠な水の確保に向けて、調査事業で**水源候補地を検討**するプロセスにおいて、**専門的な見地からの意見を幅広く聴取**するため、**有識者懇話会を開催**（計3回）し、「**苫小牧地区工業用水道案がベター**」との意見。
- ✓ 総合的な評価の内容や懇話会の意見等を踏まえ、道として、水源候補地を**苫小牧地区工業用水道**として決定。

1 水源候補地の検討の流れ



総合的な評価

評価項目	千歳川	苫小牧地区工業用水道（安平川）	
概要	整備(管)延長	・ L=約8km	・ L=約22km
	主な施設	・ 取水施設、沈砂地、送水ポンプ場、浄水場、送水管	・ 送水ポンプ場、送水管(新たな取水施設や浄水場等は不要)
	JR等の交差物	・ 2箇所	・ 4箇所
協議・調整	・ 水利権の取得が必要 であり、事業計画の検討も含め許可まで 3年程度必要 。（工事着手は許可後）	・ 水利権は取得済 であり、未売水量から供給。 ・ 給水区域の関係者への説明が必要 。	
環境影響	・ 正常流量を維持 した上で 動植物への影響 などに配慮した 取水方法等 を検討し、 新たな水利権 を取得。 ・ 河川内の工事が必要 であり、 動植物の調査 や流況への影響を踏まえた 必要な対策 を実施。 ・ 市街地の工事区間 では、 騒音・振動の規制区域 で 騒音・振動調査 や 必要な対策 を実施。	・ 動植物への影響 などに配慮された 正常流量を維持 しながら 取水可能 。 ・ 河川内の工事が不要 （既存の取水施設等を活用）なため、 環境負荷が低い 。 ・ 工事区間では 騒音・振動の低減 する配慮が必要。	
事業期間	・ 5年間【2029年第一四半期に完成】 （うち工期：約3年）	・ 3年間【2027年第一四半期に完成】 （うち工期：約2年）	
事業費	・ 160～190億円	・ 170～200億円	
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 千歳川は、正常流量を維持した上で動植物の影響などに配慮した取水方法等の検討が必要だが、苫小牧地区工業用水道（安平川）は、動植物への影響などに配慮された正常流量を維持しながら取水可能。 ✓ 千歳川は河川内の工事を実施するため、環境影響を踏まえた調査・対策が必要だが、苫小牧地区工業用水道（安平川）は河川内の工事が不要なため、環境負荷が低い。（既存の取水施設等を活用） ✓ 事業費は管路延長が短い千歳川がやや安価。 ✓ 苫小牧地区工業用水道（安平川）は、水利権の取得や取水施設等の整備が不要なため、事業期間は千歳川より短期間。 ✓ 2027年の量産開始までに必要な水量を確保できる可能性が高いのは苫小牧地区工業用水道（安平川）。 		

2 今後の対応

- ・ 北海道企業局と連携し、**ラピダス社**や**千歳市**、**国**などと必要な**調整・検討**を**迅速に進める**。
- ・ 必要な予算措置、本工事着手に向けて、**送水ルート**の**概略検討**や**概算事業費**の**算出**等を行う。

※参考：有識者懇話会

《開催日》第1回：8月25日、第2回：9月7日、第3回：9月28日
《有識者》（五十音順）

- ・小高 咲 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事長
- ・清水 康行 北海学園大学 工学部社会環境工学科 特任教授
- ・妹尾 優二 一般社団法人流域生態研究所 代表理事
- ・平本 健太 [座長] 北海道大学 大学院経済学研究院 教授
- ・吉田 聡子 北海道クリエイティブ株式会社 代表取締役社長